目次

はじめに 1
本書の表記 1
商標および著作権について 2
1 各部名称 3
2 モバイルプロジェクターユニットを使うための準備 4
ドライバーをインストールする 4
3 使い方 6
モバイルプロジェクターユニットを取り付ける／取り外す 6
モバイルプロジェクターユニットの電源を入れる 7
ゆがみを補正する 8
ピントを合わせる 8
明るさを調節する 8
画面の表示方法を切り替える 9
プロジェクターの電源を切る 10
4 お使いになるうえでの注意事項 11
5 困ったときには 12
トラブルシューティング 12
お問い合わせ先／リサイクルについて 13
6 仕様 14

はじめに

このたびは、弊社製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本書は、モバイルプロジェクターユニット（以降、本製品）の基本的な取り扱いについて説明しています。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

2011 年 10 月

本書の表記

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■連続する操作の表記

本文中では、連続する操作手順を「→」でつなげて記述しています。

例：「スタート」ボタンをクリックし、「すべてのプログラム」をポイントし、「アクセサリ」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」の順にクリックします。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種や OS によって、実際に表示される画面やイラストが異なります。また、イラストは説明の都合上、一部を省略していることがあります。

■照射部の角度について

本文中に出てくる照射部の角度については、特に方向の記載が無い限り垂直方向の角度を指します。

■CD や DVD の使用について

本文中の操作手順において、CD または DVD を使用することがあります。
操作に必要な CD/DVD ドライブが搭載されていないパソコンをお使いの場合、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。
使用できる周辺機器については、インターネットの富士通製品情報ページをご覧ください。
また、使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

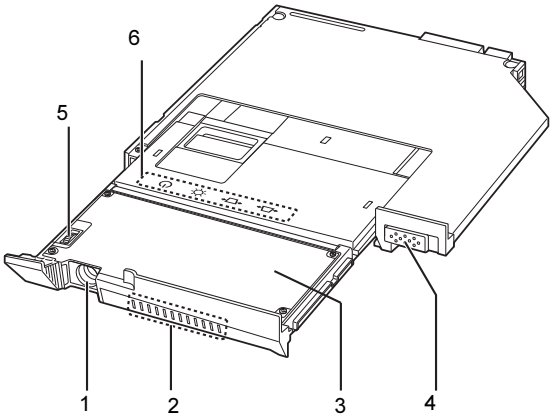
製品名称	本文中の表記	
Windows® 7 Professional	Windows 7	Windows
Windows® 7 Home Premium		
Windows® XP Professional	Windows XP	

商標および著作権について

Windows は、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。
その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

Copyright FUJITSU LIMITED 2011

1 各部名称



1 レーザー照射口

2 通気孔

底面にも通気孔があります。

重要

▸通気孔はふさがないでください。故障の原因になります。

3 照射部

4 照射部引き出しスイッチ

5 フォーカス調整ダイヤル

6 調整ボタン

レーザー点灯ボタン

レーザーを点灯します。

輝度切り替えボタン

照射画面の明るさを切り替えます。

台形補正ボタン（上辺、底辺）

照射画面のゆがみを補正します。

2 モバイルプロジェクターユニットを使うための準備

ドライバーをインストールする

本製品をお使いになるには、添付の CD-ROM「モバイルプロジェクターユニットドライバー」からドライバーをインストールする必要があります。
インストールするときは、管理者権限をもったユーザーとしてログオンしてください。

POINT

- CD/DVD ドライブがお手元にない場合は、富士通製品情報ページからドライバーをダウンロードしてお使いください。
  - ・個人のお客様：http://azby.fmworld.net/support/
  - ・法人のお客様：http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html

1 パソコン本体のモバイル・マルチベイにCD/DVDドライブを取り付けます。

取り付け方は、パソコン本体のマニュアルのモバイル・マルチベイの説明をご覧ください。

POINT

- 外付けの CD/DVD ドライブユニットからインストールすることもできます。

2 本製品に添付の CD-ROM「モバイルプロジェクターユニットドライバー」を CD/DVD ドライブにセットします。

「ドライバーズディスク検索ツール」が起動します。

POINT

- Windows 7 で「自動再生」ウィンドウが表示された場合は「DRVCDSRC.exe の実行」をクリックします。Windws XP で「Windows が実行する動作を選んでください」と表示された場合は「自動再生」をクリックします。
- 「ドライバーズディスク検索ツール」が起動しない場合は次のように操作します。
  1. 「スタート」ボタン→「コンピューター」または「マイコンピューター」の順にクリックします。
  2. ディスクをセットしたドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「自動再生を開く」をクリックします。

3 「ソフトウェアの検索条件」でお使いの OS を選択します。

4 表示されたフォルダー内の「install.txt」をご覧になり、インストールしてください。

重要

- インストール中に、インストールを中断したり、別のソフトウェアを起動したり、パソコンの電源を切ったりしないでください。

5 インストールの完了後、再起動をうながすメッセージが表示されたら、メッセージに従って再起動します。

3 使い方

モバイルプロジェクターユニットを取り付ける／取り外す

パソコン本体のモバイル・マルチベイに本製品を取り付けて使用します。取り付け方についてはパソコン本体のマニュアルのモバイル・マルチベイの説明をご覧ください。

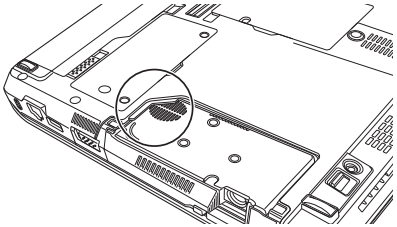
重要

本製品をモバイル・マルチベイに取り付けるときや取り外すときは、必ず照射部を格納してから行ってください。

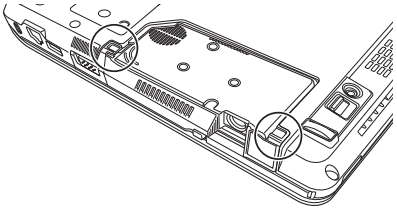
POINT

▶LIFEBOOK S シリーズでは次の点にご注意ください。

・モバイル・マルチベイに取りつけたときは、パソコン本体のツメの部分が本製品の上側になります。



・本製品を取り外すときは、図の左右のくぼみ部分のいずれかに手をかけて引き出してください。

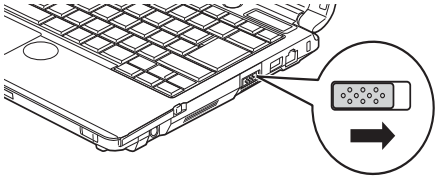


モバイルプロジェクターユニットの電源を入れる

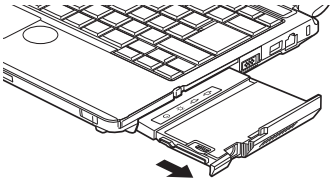
POINT

モバイルプロジェクターユニットを使用するときは、周囲の照明を暗くしてください。

1 照射部引き出しスイッチをスライドしてロックを外します。



2 調整ボタンが完全に見えるまで、照射部を引き出します。



モバイルプロジェクターユニットの電源が入ります。

重要

- 照射部を引き出した状態で上から押さえないでください。本製品が故障する可能性があります。特に照射部の下に机などがない状態で使用するときはご注意ください。
- 照射部を強く引っ張りすぎないでください。故障の原因になります。
- 照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。

3 ⏻ レーザー点灯ボタン（→ P.3）がオレンジ色になったら、レーザー点灯ボタンを押します。

ボタンが緑色になり、レーザーが点灯します。

4 照射部の角度を調節します。

0° ～ 90° の範囲で調節できます。

POINT

- 60° ～ 90° の範囲で台形補正ボタンを押すと映像が反転表示されます。もう一度押すと元の向きに戻ります。
- 映像が反転した状態で 60° 以下にすると、元の向きに戻ります。
- 水平方向にも -3° ～ 3° の範囲で調整できます。

ゆがみを補正する

台形補正は自動的に行われます。それでも映像がゆがんでいる場合は、台形補正ボタン（上辺、底辺）（→ P.3）で調整します。
ボタンを押すたびに、映像の上辺または底辺が縮みます。

（上辺ボタン）
上辺を縮めます

（底辺ボタン）
底辺を縮めます

POINT

- 台形補正の有効範囲は、自動補正、手動補正共に 0° ～ 18° です。
- 自動台形補正時や、台形補正ボタンを押すと、画面が一瞬暗くなります。
- 台形補正ボタンを押すと自動台形補正は無効になります。再度有効にするには、台形補正ボタン（上辺または底辺どちらか）を 2 秒以上押します。

ピントを合わせる

映像がぼやけている場合は、フォーカス調整ダイヤル（→ P.3）を回してピントを合わせます。

明るさを調節する

輝度切り替えボタン（→ P.3）で明るさを 2 段階に切り替えることができます。
ボタンを押すごとに明るさが切り替わります。
AC アダプタを接続している場合と、バッテリで運用する場合とで明るさが異なります。

	明るさ（lm：ルーメン）	
AC アダプタ接続時	40 注	30
バッテリ運用時	30 注	20

注：初期値

画面の表示方法を切り替える

パソコン本体の画面と、プロジェクターで表示している画面を切り替えて使うことができます。

表示方法		説明
Windows 7	Windows XP	
拡張	プロジェクタ セカンダリ表示	パソコン本体の画面右側をプロジェクターの画面に拡張し、1つの画面として表示します。
複製	プロジェクタ クローン表示	パソコン本体の画面とプロジェクターの画面の両方に同一の画面を表示します。 両方のディスプレイの解像度は同じである必要があります。
プロジェクターのみ	—	プロジェクターの画面のみに表示します。
プロジェクターの切断	プロジェクタ オフ	パソコン本体の画面のみに表示します。プロジェクターのレーザー点灯ボタンは消灯し、レーザーが消灯します。

重要

- 本製品をパソコン本体から取り外すときは、表示方法を「プロジェクターの切断」（Windows XP の場合は「プロジェクタ　オフ」）に切り替えてから取り外してください。
- 画面の表示方法を「プロジェクターの切断」（Windows XP の場合は「プロジェクタ　オフ」）にした後、再度画面を表示するには、表示方法を切り替えた後に、レーザー点灯ボタンを押してボタンの色を緑にしてください。

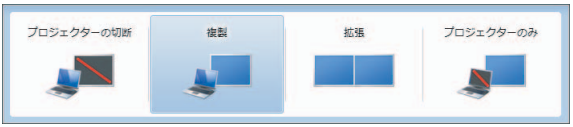
POINT

- 画面のローテーションは変更できません。
- ディスプレイの 3 画面表示、画面の発色数 High Color（16 ビット）はサポートしていません。

■Windows 7 の場合

1 **を押しながら [P] を押します。**

切り替え画面が表示されます。



2 **カーソルキーで表示方法を選んで、[Enter] を押します。**

画面の表示方法が切り替わります。

POINT

- 「画面の解像度」で切り替えることもできます。
  1. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されたメニューから「画面の解像度」を選びます。
     「ディスプレイ表示の変更」が表示されます。

2. 「複数のディスプレイ」の▼をクリックし、一覧から表示方法を選びます。
表示方法の名称はキーボードで切り替える場合と異なりますが、機能は同じです。

キーボードで切り替える場合	画面の解像度で切り替える場合
拡張	表示画面を拡張する
複製	表示画面を複製する
プロジェクターのみ	デスクトップを 2 のみに表示する
プロジェクターの切断	デスクトップを 1 のみに表示する

3. 「OK」をクリックします。
画面の表示方法が切り替わります。

■Windows XP の場合

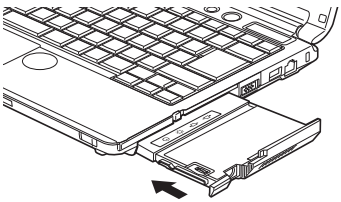
1 画面右下の通知領域にある を右クリックします。
メニューが表示されます。

2 メニューから表示方法を選びます。
画面の表示方法が切り替わります。

プロジェクターの電源を切る

1 レーザー点灯ボタン（→ P.3）を押してレーザーを消灯します。
ボタンがオレンジ色に変わります。

2 照射部を水平に戻し、パソコン本体に格納します。



プロジェクターの電源が切れます。

重要

- カチッと音がするまでパソコン本体に確実に押し込んでください。
- 照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。

4 お使いになるうえでの注意事項

・著作権保護機能対応の DVD コンテンツなどは表示することができません。
・Windows XP では、DirectX はサポートしていません。3D を使用したコンテンツ、DirectX 対応のゲームは表示されません。
・Windows XP では、ハードウェアアクセラレーションを使用した動画再生画面は表示されません。
・再起動、休止状態、およびスリープ（Windows XP の場合はスタンバイ）からの復帰（レジューム）時に、画面に次のような現象が発生することがあります。動作には問題ありませんので、そのままお使いください。
  - 一瞬暗くなる
  - 白くなる
  - ノイズが表示される
  - 表示が乱れる
  - 一瞬点滅表示する
・次の場合、プロジェクターの画面を再度表示するには、レーザー点灯ボタンを押してボタンの色を緑にしてください。
  - パソコン本体が再起動、およびスリープ（Windows XP ではスタンバイ）や休止状態から復帰（レジューム）したとき
  - コントロールパネルの「電源オプション」で設定した「ディスプレイの電源を切る」または「モニタの電源を切る」が実行され、復帰したとき
  - 画面の表示方法を「プロジェクターの切断」（Windows XP の場合は「プロジェクタオフ」）にした後、再度表示方法を切り替えたとき
・ 本製品は非常に精度の高い技術で作られておりますが、映像の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています)。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
・本製品は、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色ムラが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらくたつと消えます。この現象を防ぐためには、本製品の電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがありますが故障ではありません。
・照射部を引き出した状態で持ち運ばないでください。振動や衝撃で本製品が故障する可能性があります。
・本製品の前面や底面にある通気孔をふさがないでください。
・照射部を引き出した状態で上から押さえないでください。照射部の下に机などがない状態で使用するときは、特にご注意ください。本製品が故障する可能性があります。
・照射部の引き出しおよび収納は、パソコンを机の上に置いた状態で行ってください。
・レーザー照射口はガラスを使用しているため、取り扱いにご注意ください。衝撃を加えるとガラスが割れるおそれがあります。

5 困ったときには

正常に動作しない場合は、「トラブルシューティング」をご覧になり確認してください。また、パソコン本体や、接続されている他の機器もあわせてお調べください。問題が解決できない場合は、お問い合わせ先／リサイクルについて（→ P.13）またはご購入元に連絡してください。

トラブルシューティング

■電源が入らない

本製品がモバイル・マルチベイに正しく取り付けられているか確認してください。取り付け方法については、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

■画面に何も映らない

・調整ボタンが点滅していませんか
調整ボタンが点滅している（→ P.12）をご覧ください。
・レーザー点灯ボタンがオレンジ色になっていませんか
スリープ（Windows XP ではスタンバイ）、休止状態から復帰したときや照射部を引き出した直後など、レーザー点灯ボタンがオレンジ色になっているときはプロジェクターの画面は表示されません。レーザー点灯ボタンを押して緑色にしてください。
・画面表示が「プロジェクターの切断」（Windows XP の場合は「プロジェクタ　オフ」）になっていませんか
画面の表示方法を切り替える（→ P.9）をご覧になり、画面表示を確認してください。

■調整ボタンが点滅している

・☼（輝度切り替えボタン）と（台形補正ボタン）が点滅している
- ⏻（レーザー点灯ボタン）が緑点灯の場合
周囲の温度が高いです。ご注意ください。
- ⏻（レーザー点灯ボタン）がオレンジ点灯の場合
レーザー点灯ボタンが緑点灯の場合からさらに温度が上がった状態です。レーザーは消灯します。
照射部を一度格納し、しばらくたってから再度引き出してください。

・調整ボタンがすべて点滅している
エラーが発生しました。照射部を一度格納し、再度引き出してください。それでも点滅が続く場合は、お問い合わせ先／リサイクルについて（→ P.13）までご連絡ください。

■画面が青い

周囲の温度が低い場合は青い画面が表示されます。適正温度になるまでしばらくお待ちください。

■画面のピントが合わない

フォーカス調整ダイヤル（→ P.3）でピントを調整してください。

お問い合わせ先／リサイクルについて

本製品のお問い合わせ先およびリサイクルについては、パソコン本体のマニュアルをご覧ください。

6 仕様

■本製品の仕様

型名	FMCNPJS1	FMCNPJP1
解像度	800 × 600 ドット	
画面サイズ （投影距離）	15 ～ 75 インチ（0.5 ～ 2.5m）	
照度	40lm/30lm（AC アダプタ接続時） 30lm/20lm（バッテリ運用時）	
台形補正	手動／自動（0° ～ 18° ：3 段階）	
温湿度条件	温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（動作時） 温度－ 10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH（非動作時） （ただし、動作時、非動作時とも結露しないこと）	
外形寸法 （突起部含む）	W132.4 × D139.7 × H21.5mm	W130.1 × D135.3 × H15.9mm
重量	約 220 g	

■調整ボタンの表示仕様

	オフ時	待機時	照射時（常温）	照射時（高温）	高温停止時	エラー時
レーザー	消灯	消灯	点灯	点灯	消灯	消灯
レーザー点灯ボタン	消灯	オレンジ点灯	緑点灯	緑点灯	オレンジ点灯	オレンジ点滅
輝度切り替えボタン	白点灯	白点灯	白点灯	白点滅	白点滅	白点滅
台形補正ボタン（上辺）	白点灯	白点灯	白点灯	白点滅	白点滅	白点滅
台形補正ボタン（底辺）	白点灯	白点灯	白点灯	白点滅	白点滅	白点滅

■調整ボタンの操作仕様

		ボタンの操作		
		初期状態	押す[注1]	押す（2 秒以上）
レーザー点灯ボタン	ボタンの色	オレンジ	緑	—
	レーザーの状態	消灯	点灯	—
輝度切り替えボタン	レーザー輝度（AC アダプ接続時）	40lm	30lm	—
	レーザー輝度（バッテリ運用時）	30lm	20lm	—
台形補正ボタン（上辺）	照射角度 0° ～ 18°	自動補正	手動補正[注2] 0° ～ 18°	自動補正
	照射角度 19° ～ 59°	—	—	—
	照射角度 60° ～ 90°[注3]	画像回転（0°）	画像回転（180°）	—
台形補正ボタン（底辺）	照射角度 0° ～ 18°	自動補正	手動補正[注2] 0° ～ 18°	自動補正
	照射角度 19° ～ 59°	—	—	—
	照射角度 60° ～ 90°[注3]	画像回転（0°）	画像回転（180°）	—

注 1 ： 押すごとに初期状態と切り替わります（台形補正ボタンを除く）。
注 2 ： 押すごとに 3° ずつ角度補正されます。
注 3 ： 照射角度を 60° 未満にすると画像の回転角度が 0° に戻ります。

LIFEBOOK
モバイルプロジェクターユニットをお使いになる方へ

B6FJ-7781-01　Z0-00

発 行 日　2011 年 10 月
発行責任　富士通株式会社

〒 105-7123　東京都港区東新橋 1-5-2　汐留シティセンター

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。